



つよい子

令和7年度 学校だより

第8号

余市町立大川小学校

令和7年10月31日

【令和7年度 重点目標】 ◎ 『伝わること』を意識して生き生きと表現する子の育成
◎ 思いやりの心を持ち ルールとマナーを守る子の育成

「好き」を育む ～外の寒さと 心の温かさと～

校長 大山 敏広

- ◆歴史ある校舎の中で、光り輝いている場所があります。それは、「学校図書館」です。ボランティアの皆さま（本校の保護者、卒業生の保護者、地域にお住まいの方々）のお力により、見事な環境が整っています。令和5年度には、読書活動の推進に関して文部科学大臣表彰を受けているほどです。
- ◆10月の「学校図書館」には、たくさんの生き物が登場しました。それに合わせて、動物クイズラリーも開催されました。



「見事」という言葉を超え、「驚き」の図書館、「自慢」の図書館になっています。図書館整備の他に、定期的に読み聞かせを行っていただき、「読書好き」を育むための大きな力になってくださっています。ブックフレンズ・本の広場の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

- ◆さて、10月27日は「読書の日」でした。本校でも11月を「読書月間」と設定しています。読書は、それぞれの本の中にある「たくさんの世界を旅すること」ができます。見たことのない、考えたことのない、不思議で素敵で世界の旅をこれからもたくさん経験してほしいと思っています。本との出会いは、ただ知識を増やすだけではなく、想像する力、考える力、感じ取る力を大きく育ててくれるものです。人生を豊かにする「本との出会い」を大切にしてほしい

と思いますし、本校の学校図書館には、その“きっかけ”がたくさん潜んでいます。

◆時代は変わり、本もデジタルの時代となりましたが、アナログのよさもあるように感じます。忙しい毎日の中でも、本を開くことは心を落ち着かせてくれます。ページをめくる音や、静かな空気は安心感を与えてくれます。それを家族で共有できたのなら、とても素敵です。スマートフォンやテレビ、ゲームを少しだけお休みして、家族そろって本を読む「家読（うちどく）」に取り組んでみてはいかがでしょう。ほんの短い時間でも、心がふっと温かく、穏やかになる効果があるといわれます。

◆読書をはじめ、多様な学校の教育活動の中から、「自分は〇〇が好き」という成長のきっかけを子供たちがつかめるよう、今後も努めてまいります。引き続き、保護者の皆さん、地域の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

◆嬉しいニュースです。

お子さんからお聞きになったでしょうか…。11月20日（木）に北海道日本ハムファイターズの選



手が来校してくださることになりました。「誰が来てくれるのですか?」「どんなことをするのですか?」等々、子供たちの質問からも喜びや期待感が伝わってきます。

現在、球団と打合せを進めています。詳細は、整いましたら、改めてお知らせいたします。

◆一気に寒くなってきました。インフルエンザの流行も例年より早いようで、閉鎖措置の報道も聞かれます。体調管理には、皆さん十分にご留意ください。

◆11月下旬には、「参観日」が予定されています。「子供はみんな成長の途中」です。伸びようとする子供たちの姿を御覧いただけましたら幸いです。お待ちしております。